



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <https://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	58,770	—	3,456	—	3,733	—	2,378	—
2021年3月期第1四半期	60,057	△26.5	1,113	△91.6	1,563	△88.0	1,591	△81.1

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 5,899百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △213百万円 (—%)

[参考]

下記の%表示 (調整後増減率) は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を遡及適用したと仮定して前年同一期間 (2020年4月1日から2020年6月30日)と比較した増減率です。

売上高 57,228 2.7% 営業利益 1,109 211.6% 経常利益 1,558 139.6% 親会社株主に帰属する四半期純利益 1,588 49.8% (単位: 百万円)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	41.69	—
2021年3月期第1四半期	27.90	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年12月期第1四半期における各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	305,697	243,587	74.5	3,994.11
2021年3月期	308,386	241,299	73.1	3,952.94

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 227,854百万円 2021年3月期 225,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	—	20,000	—	20,500	—	14,200	—	248.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

[参考]

下記の%表示（調整後増減率）は、当社及び3月決算の国内連結子会社の前期業績を9ヶ月（2020年4月1日から2020年12月31日）の期間に合わせて当期業績予測と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	(単位：百万円)
213,438 11.5%	16,557 20.8%	19,095 7.4%	13,985 1.5%	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	60,592,541株	2021年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	3,544,841株	2021年3月期	3,544,841株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	57,047,700株	2021年3月期1Q	57,043,438株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関連)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）

セグメントの名称	前第1四半期		(調整後) 前第1四半期		当第1四半期		(調整後) 前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	47,867	79.7	46,266	80.8	48,607	82.7	2,341	5.1
コスメタリー事業	11,702	19.5	10,475	18.3	9,867	16.8	△608	△5.8
その他	486	0.8	486	0.9	295	0.5	△190	△39.2
売上高計	60,057	100.0	57,228	100.0	58,770	100.0	1,541	2.7

区分	前第1四半期		(調整後) 前第1四半期		当第1四半期		(調整後) 前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	1,113	1.9	1,109	1.9	3,456	5.9	2,347	211.6
経常利益	1,563	2.6	1,558	2.7	3,733	6.4	2,175	139.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,591	2.6	1,588	2.8	2,378	4.0	790	49.8

※上記前年同期比（調整後増減率）は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を遡及適用したと仮定して前年同一期間（2020年4月1日から2020年6月30日）と比較した増減率です。

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年6月30日まで）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きが続いています。

当社グループが主に事業展開しているアジア・北米両地域の経済（2021年1月1日から2021年3月31日まで）は、中国では景気は緩やかに回復しており、それ以外のアジア各国では、厳しい状況にあるものの下げ止まりや回復の動きがみられます。米国では依然厳しい環境下ながらも経済活動再開により着実に改善してきています。

日本の化粧品市場においては、外出自粛による消費意識の低下はあるものの、緩やかな回復傾向にあります。

アジア・北米の化粧品市場においては、中国では昨年引き続き、Eコマースや免税事業を中心に大きく成長していますが、それ以外のアジアについては、引き続き厳しい状況となっています。米国では、新型コロナウイルスワクチン接種の拡大、及び感染状況の改善などにより、着実に回復しています。

このような市場環境の中、当社グループにおいては、過去の苦しい局面においてピンチをチャンスに変えてきた経験・ノウハウを有しており、今後もグローバル・ボーダレスに事業を拡大していくために、リスクに強い企業に進化すべく、課題に取り組み改革を進めています。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、昨年の反動により、国内および中国での販売が好調に推移し、売上高は調整後前年同期比2.7%増の58,770百万円（為替の影響を除くと調整後前年同期比2.4%増）となりました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は42.5%となりました。

利益については、上記理由による売上高の増加、およびコストコントロールにより、営業利益は3,456百万円（調整後前年同期比211.6%増）、経常利益は3,733百万円（同139.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,378百万円（同49.8%増）となりました。

化粧品事業は、中国では「デコルテ」がすべてのチャンネルで引き続き好調に推移しました。日本では、メイクアップブランドは苦戦したものの、㈱アルビオンや「デコルテ」「雪肌精」などの主要ブランドが回復し、「カルテHD」が引き続き好調に推移したことにより、売上高は48,607百万円（調整後前年同期比5.1%増）、営業利益は6,338百万円（同5.8%増）となりました。

コスメタリー事業は、ヘアケアブランドの「スティーブンノル ニューヨーク」、コーセーコスメポート㈱の「サンカット」「ソフティモ」が好調に推移しましたが、コスメニエンスブランドのリニューアルに伴う返品の影響などにより、売上高は9,867百万円（同5.8%減）、営業損失は1,681百万円（前年同期は2,511百万円の営業損失）となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が減少した結果、売上高は295百万円（同39.2%減）、営業利益はコスト低減により、70百万円（同134.9%増）となりました。

地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第1四半期		（調整後） 前第1四半期		当第1四半期		（調整後） 前年同期比較	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	増減額 （百万円）	増減率 （%）
日本	34,814	58.0	32,042	56.0	33,788	57.5	1,746	5.4
アジア	16,704	27.8	16,647	29.1	17,874	30.4	1,227	7.4
北米	7,639	12.7	7,639	13.4	6,447	11.0	△1,191	△15.6
その他	898	1.5	898	1.5	659	1.1	△239	△26.6
売上高計	60,057	100.0	57,228	100.0	58,770	100.0	1,541	2.7

<日本>

昨年の反動により主要ブランドが百貨店や専門店チャンネルにおいて回復し、メゾンコーセーを中心としたEコマースも引き続き好調に推移したことにより、売上高は33,788百万円（調整後前年同期比5.4%増）となりました。

<アジア>

新型コロナウイルス感染症の影響からいち早く脱却している中国では、全チャンネルにおいて好調に推移しました。中国以外では、韓国は1-2月は厳しい状況でしたが3月には回復傾向となり、台湾は昨年の反動により好調に推移しました。これらの結果、売上高は17,874百万円（同7.4%増）となりました。

<北米>

タルトは、店舗が営業を再開し、Eコマースも引き続き伸長しましたが、都心部やモール内店舗は引き続き苦戦するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。これらの結果、売上高は6,447百万円（同15.6%減）となりました。

<その他>

欧州におけるタルトは、米国同様、Eコマースが好調に推移し、店舗も営業を再開していますが、観光客売上の大きな店舗が苦戦するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、売上高は659百万円（同26.6%減）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月30日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

なお、2021年6月29日に開催の定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。経過期間となる2021年12月期は、当社及び3月決算の国内連結子会社については、2021年4月1日から2021年12月31日の9ヶ月を連結対象期間としています。なお、12月決算である連結子会社については、従来どおり2021年1月1日から2021年12月31日の12ヶ月を連結対象期間としています。

また、2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予測は当該会計基準等を適用した後の金額を記載しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,391	100,260
受取手形及び売掛金	39,420	32,534
商品及び製品	31,932	32,443
仕掛品	2,802	3,192
原材料及び貯蔵品	22,603	25,818
その他	4,952	6,886
貸倒引当金	△71	△69
流動資産合計	205,031	201,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,592	52,684
減価償却累計額	△23,108	△23,585
建物及び構築物（純額）	29,483	29,098
機械装置及び運搬具	21,814	21,937
減価償却累計額	△14,554	△14,973
機械装置及び運搬具（純額）	7,260	6,964
工具、器具及び備品	44,463	44,941
減価償却累計額	△36,454	△37,146
工具、器具及び備品（純額）	8,009	7,794
土地	17,350	17,370
リース資産	2,202	2,207
減価償却累計額	△1,545	△1,603
リース資産（純額）	657	603
建設仮勘定	130	92
有形固定資産合計	62,892	61,923
無形固定資産		
ソフトウェア	4,116	4,225
のれん	4,720	4,846
その他	5,316	5,237
無形固定資産合計	14,153	14,309
投資その他の資産		
投資有価証券	15,184	16,261
退職給付に係る資産	2,484	2,807
繰延税金資産	4,729	5,394
その他	4,347	4,381
貸倒引当金	△437	△446
投資その他の資産合計	26,308	28,398
固定資産合計	103,354	104,631
資産合計	308,386	305,697

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,733	9,271
電子記録債務	13,471	16,519
短期借入金	7,600	4,100
リース債務	231	197
未払金	12,261	7,424
未払費用	11,068	8,601
未払法人税等	4,478	1,676
返品調整引当金	1,837	—
返金負債	—	4,798
その他	3,925	3,118
流動負債合計	61,608	55,708
固定負債		
リース債務	702	689
繰延税金負債	181	1,056
その他	4,594	4,656
固定負債合計	5,478	6,401
負債合計	67,087	62,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
利益剰余金	222,354	221,313
自己株式	△9,095	△9,095
株主資本合計	218,107	217,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,605	6,155
為替換算調整勘定	△683	2,236
退職給付に係る調整累計額	2,476	2,397
その他の包括利益累計額合計	7,398	10,788
非支配株主持分	15,792	15,732
純資産合計	241,299	243,587
負債純資産合計	308,386	305,697

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
売上高	60,057	58,770
売上原価	15,452	16,086
売上総利益	44,604	42,684
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,144	3,838
販売促進費	12,804	9,317
運賃及び荷造費	3,300	3,810
給料及び手当	12,557	11,946
退職給付費用	318	154
法定福利費	1,959	1,340
減価償却費	1,074	1,104
その他	8,330	7,715
販売費及び一般管理費合計	43,490	39,227
営業利益	1,113	3,456
営業外収益		
受取利息	76	55
受取配当金	155	218
還付消費税等	357	228
特許実施許諾料	5	4
雑収入	142	108
営業外収益合計	738	615
営業外費用		
支払利息	3	4
支払手数料	4	3
投資事業組合運用損	16	24
為替差損	224	277
雑損失	40	27
営業外費用合計	289	338
経常利益	1,563	3,733
特別利益		
固定資産売却益	1,007	0
投資有価証券売却益	—	90
特別利益合計	1,007	90
特別損失		
固定資産処分損	27	53
減損損失	—	0
事業整理損	—	71
特別損失合計	27	125
税金等調整前四半期純利益	2,542	3,699
法人税、住民税及び事業税	1,869	1,133
法人税等調整額	△785	102
法人税等合計	1,083	1,235
四半期純利益	1,459	2,463
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△132	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,591	2,378

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益	1,459	2,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	549
為替換算調整勘定	△1,428	2,961
退職給付に係る調整額	5	△75
その他の包括利益合計	△1,673	3,435
四半期包括利益	△213	5,899
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70	5,768
非支配株主に係る四半期包括利益	△143	130

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を適用しております。

当社グループは、化粧品、コスメタリー製品等の製造及び販売を行っており、このような製品販売については、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しており、当該製品の引渡時点で収益を認識しております。ただし、製品の国内の販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転されるまでの期間が通常の間であるため、出荷時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート及び返品等を控除した金額で測定しております。

これにより顧客に対して支払う対価である販売促進費などの一部について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理していたものを売上高から控除しております。また、返品権付の販売については、取引先との商慣習により生じる返品について翌期以降に発生する損失見込額を返品調整引当金として計上しておりましたが、売上高から控除するとともに、同額の返金負債を計上する方法に変更しております。

収益認識に関する会計基準等の適用については、収益認識に関する会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、従来の方針に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上高が5,700百万円減少、売上原価が491百万円減少、販売費及び一般管理費が5,203百万円減少しており、売上総利益が5,208百万円減少、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ5百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高が10百万円減少しております。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りの仮定から重要な変更は行っておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	47,867	11,702	59,570	486	60,057	—	60,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	166	166	△166	—
計	47,867	11,702	59,570	653	60,223	△166	60,057
セグメント利益又は損失(△)	5,997	△2,511	3,485	29	3,515	△2,401	1,113

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	△16
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,385

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
34,814	16,704	7,639	898	60,057

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	48,607	9,867	58,474	295	58,770	—	58,770
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	86	86	△86	—
計	48,607	9,867	58,474	382	58,856	△86	58,770
セグメント利益又は損失(△)	6,338	△1,681	4,657	70	4,728	△1,271	3,456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	△29
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,242

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（会計方針の変更）に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の化粧品事業の売上高は4,284百万円減少、セグメント利益は5百万円減少し、コスメタリー事業の売上高は1,415百万円減少、セグメント損失に与える影響はありません。

4. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
33,788	17,874	6,447	659	58,770

(収益認識関連)

収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象としていることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	23,980	17,519	6,447	659	48,607
コスメタリー事業	9,512	355	—	—	9,867
報告セグメント計	33,492	17,874	6,447	659	58,474
その他	295	—	—	—	295
外部顧客への売上高	33,788	17,874	6,447	659	58,770